

パス ITパスポート試験

あなたのIT力を証明する

国家試験

受験者
向け

日本の元気を
i
パスで!!



iパス公式キャラクター



上峰 亜衣 (うえみね あい)

PROFILE

社会人2年目、23歳。大手商社の経営企画部門に所属。業務に必要なITと経営に関する基礎知識を得るため、iパスに挑戦。2回目で合格(750点)。iパスで得た幅広い知識を活かして、日々奮闘中。

企業での活用事例

社員教育・研修・資格取得奨励制度など、 多くの企業で活用されています

組織全体や社員のIT力・ITリテラシー向上を図ることを目的に、iパス合格を推奨する企業や、iパスの社内研修を開催する企業、合格者に合格一時金を支給する企業など、多くの企業でiパスが活用されています。また、入社前の内定者に対してiパスを推奨・受験させる企業も増えています。

朝日新聞 株式会社朝日新聞社

紙の新聞だけでなく、IT技術を組み合わせたニュース発信にも力を入れているため、社員のデジタル対応力強化にiパスの取得を推奨・支援。取得を希望する社員の受験手数料は会社で全額負担し、資格の取得を推奨している。

ANA 全日本空輸株式会社

ITを全体統括する業務プロセス改革室は、IT及びビジネス部門出身者が一緒に業務を行っており、異なる専門性のシナジーを最大化するためにはIT基礎スキルの組織的底上げが不可欠となったため、室内全員のiパス取得を必須と判断している。

DNP 大日本印刷株式会社

どの業務においても、基礎的なITの知識がなければ円滑な業務は遂行できないため、iパスを重要視。情報システム部門の社員が講師となり、受講希望者に対して集中対策講座を実施している。

TOYOTA トヨタ自動車株式会社

全社員が対象となる資格取得奨励制度にiパス含め情報処理技術者試験の全区分を設定。合格者には一時金を支給し、合格を支援。

他にもiパスを活用している企業は多数！
詳細はホームページにてご確認ください。

iパス 検索

さあ、あなたも
「iパス」にチャレンジ!!

合格者インタビュー

ITと接点の無い業界は、ありません。



JR東日本

東京駅 出札 営業係 (平成28年5月現在)

高木 美穂 (たかぎ みほ) さん

平成26年 獨協大学経済学部経済学科卒業

大学2年生で、就職活動を意識するようになり、何か自己アピールのできる資格が欲しいと考えるようになりました。

就職活動では、他の学生と差のつく資格を持っていることが、自身のアピールポイントにつながります。iパスも、その一つです。実際、私も面接では、iパスを目指した理由を質問されたり、iパスってどのような試験なのかと興味を持ってもらえたりと、会話のきっかけになることを多々体験しました。

入社後、業務知識や制度に関する研修に加え、経営方針やコンプライアンス、情報セキュリティなどに関する研修も多くありましたが、iパスで学んだ知識がベースにあったため、スムーズに学ぶことができました。当社では多くのお客さまの個人情報扱っているため、受験しておいて本当に良かったと日々感じています。

就職活動に有利になるだけでなく、社会人として必要な基礎知識が身に付くほか、将来のキャリアプランを考えるのにも役立つというメリットがあります。時間に余裕があり、たくさんのお客さまの情報を吸収できる学生時代の今こそ、ぜひトライしてみたいと思います。



iパスの特徴

iパスはCBT方式により、年間を通して試験を実施しています。CBT方式とは、パソコンを利用して実施する試験のことで、受験者は試験会場にて、パソコンに表示された試験問題に解答する方式です。

いつでも、どこでも、受験ができる!

- 自分の都合に合わせて、試験日時や試験会場を選択できます。
- 全国約100の試験会場で受験できます。

結果がすぐにわかる!

- 試験結果が、その場ですぐわかります。
- IT力をスコア(1,000点満点)で確認できます。

得意分野・苦手分野がわかる!

- 分野別のスコアが確認できます。
- 苦手分野が把握でき、次回に向けて対策できます。

iパスで問われる知識

ストラテジ系 経営全般	経営戦略、財務、法務など経営全般に関する基本的な考え方、特徴など
マネジメント系 IT管理	プロジェクトマネジメント、システム開発などIT管理に関する基本的な考え方、特徴など
テクノロジー系 IT技術	ネットワーク、セキュリティ、データベースなどIT技術に関する基本的な考え方、特徴など

試験内容

試験時間	120分	解答形式	四肢択一式	受験手数料	5,700円 (消費税込み)
出題数	<ul style="list-style-type: none"> ■出題方式 小問:100問 ■出題分野 経営全般(ストラテジ系) 35問程度 IT管理(マネジメント系) 20問程度 IT技術(テクノロジー系) 45問程度 				
合格基準	<p>総合スコア、分野別スコアのすべてが次の基準を満たすこと</p> <p>総合スコア 600点以上/1,000点(総合スコアの満点)</p> <p>分野別スコア</p> <p>経営全般(ストラテジ系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点)</p> <p>IT管理(マネジメント系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点)</p> <p>IT技術(テクノロジー系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点)</p>				

出題の特色

- check 01 実務で遭遇する身近な場面を取り上げた問題を織り交ぜて出題します。
- check 02 業務を安全に遂行するために必要となる情報セキュリティに関する知識について、積極的に出題します。
- check 03 業務を理解する上で必要となる経営全般の基礎知識を出題します。
- check 04 最新の技術動向に関する問題を積極的に出題します。

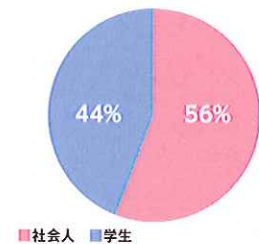
応募者データ

※平成27年度統計情報に基づくデータ

●累計応募者数

開始7年で
69万人!!
(691,615人)

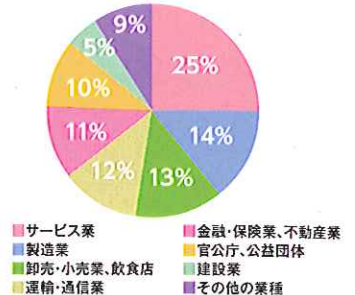
●社会人・学生の割合



●社会人・大学生の合格率

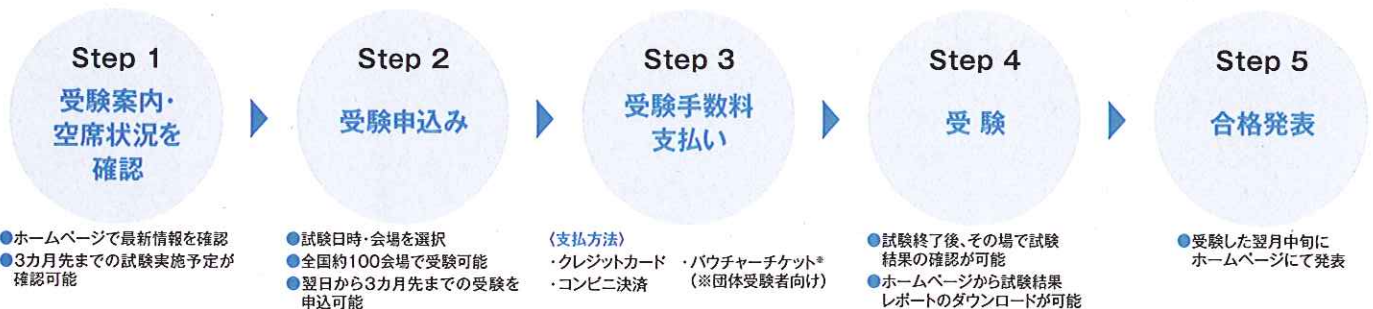
社会人
57.0%
大学生
45.2%

●社会人/非IT系業種の内訳



受験の流れ

受験日を自分で設定できるから、好きなタイミングで受験することができます。



お問い合わせ先

IPA Better Life with IT 独立行政法人情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター

ITパスポート試験 コールセンター

TEL 03-6204-2098 E-mail call-center@cbt.jitec.ipa.go.jp
(特定電子メールは送信しないでください。)

詳細はホームページをご確認ください。 <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

iパス 検索